

第36期第21回常任理事会議事録

日 時：2012年 5月26日（土）17時15分～18時45分

会 場：つくば国際会議場（小会議室402）

出席者：新野，藤谷，岩崎，経田，近藤，田中，
徳廣，中島，中村，藤部，三上，余田，
以上12名（常任理事現在数13名）

欠席者：佐藤，以上1名

その他の出席者：田沢，萩原（事務局）

議 事

1. 第36期第20回常任理事会議事録の確認
2. 第36期第 9 回理事会議事録の確認
3. 会員の新規加入等について
新入会員39，退会 4 を全会一致で承認。2012年 5月24日現在，会員数3,792名で通常会員は1,071名。
4. IUGONET プロジェクトについて
文部科学省の特別教育研究経費及び特別経費の支援を受ける大学間連携プロジェクト「超高層大気長期変動の全球地上ネットワーク観測・研究」の継続支援の要望書の共同署名になることを了承した。また，今後同様の要望に応じていくことを確認した。
5. 大学・研究機関等からの外部評価委員候補推薦依頼について
大学・研究機関等への文部科学省の指導もあり，今後標記事項が増える見通しが報告され，公益社団法人の事業として学会の社会貢献度向上が求められていることから，依頼があれば外部評価委員に相応しい会員を推薦していくことを確認した。
6. 日本学術会議における学術の大型施設計画・大規模研究計画について
ここ1，2年で行われる標記マスタープランの大改訂に向けた課題が報告され，これまで検討を進めてきた学術委員会と中島理事で対処を検討することを了承した。
7. 各委員会からの報告
庶務…
1) 転載許可
①申請者：東京堂出版
転載元：
・Qoosaku Moteki, Hiroshi Uyeda, Takeshi Maesaka, Taro Shinoda, Masanori Yoshizaki and Teruyuki Kato, 2004: Structure and development of two merged rainbands ob-

served over the East China Sea during X-BAIU-99 Part I: Meso- β -scale structure and development processes. J. Meteor. Soc. Japan, 82, 19-44, Fig.3, Fig.7, Fig.8.

- Qoosaku Moteki, Hiroshi Uyeda, Takeshi Maesaka, Taro Shinoda, Masanori Yoshizaki and Teruyuki Kato, 2004: Structure and development of two merged rainbands observed over the East China Sea during X-BAIU-99 Part II: Meso- α -scale structure and build-up processes of convergence in the Baiu frontal region. J. Meteor. Soc. Japan, 82, 45-65, Fig.2, Fig.4, Fig.5.
- Qoosaku Moteki, Taro Shinoda, Shingo Shimizu, Shinichiro Maeda, Haruya Minda, Kazuhisa Tsuboki and Hiroshi Uyeda, 2006: Multiple frontal structures in the Baiu frontal zone observed by aircraft on 27 June 2004. SOLA, 2, 132-135, Fig.2, Fig.3, Fig.4.
- Hiroyuki Yamada, Biao Geng, Hiroshi Uyeda and Kazuhisa Tsuboki, 2007: Role of the heated landmass on the evolution and duration of a heavy rain episode over a Meiyu-Baiu frontal zone. J. Metsoc. Soc. Japan, 85, 687-709, Fig.3.

転載先：梅雨前線の正体，新田 尚監修，茂木耕 著作，東京堂出版発行。

②申請者：成田恭子

転載元：気象科学事典，図6枚

転載先：「初心者向け気象予報士講座ビデオ教材」合同会社でんコロ発行。

③申請者：Shapna Babu

転載元：Matsuno, T., 1966: Quasi-geostrophic motions in the equatorial area, J. Meteor. Soc. Japan, 44, 25-43, Fig.4, Fig.5, Fig.6, Fig.7, Fig.8.

転載先：“An introduction to dynamic meteorology, 5th edition” by J. Holton and G. J. Hakim.

2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：第6回「地域防災防犯展」

- 主催：大阪国際見本市委員会
 期日：2012年6月7日～8日
 場所：インテックス大阪
 名義：後援
- ②名称：第1回環境放射能除染研究発表会
 主催：環境放射能除染学会
 期日：2012年5月19日～21日
 場所：パルセいいざか（福島市飯坂温泉観光会館）
 名義：後援
- ③名称：第4回「イノベーション基盤シミュレーションソフトウェアの研究開発」シンポジウム
 主催：東京大学生産技術研究所
 期日：2012年7月5日～6日
 場所：東京大学生産技術研究所コンベンションホール（An棟2階）
 名義：協賛
- ④名称：第30回レーザーセンシングシンポジウム
 主催：レーザーレーダ研究会
 期日：2012年9月6日～7日
 場所：オリビアン小豆島
 名義：協賛
- ⑤名称：JASIS2012（旧分析展／科学機器展）
 主催：社団法人分析機器工業会／一般社団法人日本科学機器協会
 期日：2012年9月5日～7日
 場所：幕張メッセ国際会議場
 名義：後援
- 3) その他
- ・4月18日：日本学術振興会賞推薦応募。
 - ・5月8日：東京大学大気海洋研究所阿部彩子教授に猿橋賞授与の連絡。
 - ・5月15日：公益認定等委員会へ相談（藤谷理事，事務局）。
 - ・5月16日：科研費（研究成果公開促進費）の学術振興会の説明会（事務局）。
 - ・5月18日：長谷川法律事務所へ総会対応について相談（藤谷理事，事務局）。
 - ・5月24日：文科省から「今夏の電力需給対策について」，「個人情報保護に関するガイドライン」が通知される。
- 会計…2012年4月分の収支及び現預金検査報告。
 天気…Vol.59 No.5（2012年5月号）の掲載記事と，Vol.59 No.6－8（2012年6－8月号）の予定記事の報告。
 気象研究ノート…5月10日に第225号「2010年夏日本の猛暑」を発刊したことの報告。
 SOLA…編集補助者の選定と勤務形態についての報告。
- ・日本地球惑星科学連合の電子ジャーナル創設について，地球惑星科学連合の対応が示されたこと，検討メンバーに佐藤正樹理事が立候補したことが報告された。
8. 6月期の役員の交替事務について
 第36期最終常任理事会，第36期・第37期理事引継会議，第37期理事予定者会議を，6月中に同日で行う予定を確認した。

平成24年6月18日

社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 経田 正幸